

世界は「経済」を原動力として動いている。



driving force of the world
It's a



IT・AI社会と その先を見通す力を

経済学部長・経済学研究科長
守 健二

東北大学経済学部の特長は、経済学と経営学との融合教育、ゼミを中心とした少人数教育、大学院との連携教育、そして留学や英語による授業などの国際教育を通して、ビジネス、行政、社会、学術の分野での指導的人材を養成することにあります。また令和2年度からは理系入試を導入し、IT(情報技術)・AI(人工知能)社会で活躍できるデータ・サイエンティストの養成にも力を入れています。「第4次産業革命」と言われるように、デジタル技術が社会を未曾有のスピードで変化させています。この産業革命によってどんな社会が生まれるのでしょうか。それは一方では、省力化・効率化を發揮して、少子高齢化に伴う社会保障の問題、石炭火力をめぐる環境・エネルギー問題など、現代の喫緊の課題の解決に役立つと大いに期待されています。しかし他方では「テクノ・ペシニズム」と言われるように、雇用の減少や不安定化、巨大ITによる「新独占」、所得格差の拡大、個人情報の集中、技術開発競争をめぐる市場の分断(「テカプリング」)など自

由競争・自由貿易・民主主義を脅かす深刻な危険性も指摘されています。技術の方向性を決めるのはそれを生みだしたわれわれ社会の責任です。技術を正しい方向に導くためには、インターネットで誰でも得られる知識やAIで代用できる計算力ではもはや十分ではありません。むしろ人間や社会に対する幅広く長期的な洞察力、それに裏付けられた普遍的な価値判断が求められます。経済学・経営学という「文理融合」に相応しい学問を通して、IT・AI社会のその先を見通すナビゲーターたちを私たちは育成していきます。さらに高度な専門的能力の修得を目指す諸君には、大学院経済学研究科への進学が道が開かれています。5年間で学士号と修士号を両方取得できるコースを準備し、さらに博士課程への進学希望者には学部独自の奨学金も創設しました。皆さん、東北大学経済学部で私たちと一緒に、目指すキャリアに合わせて自分の可能性を大きく拓いてみませんか。

TABLE OF CONTENTS

P 02 経済学部の教育	P 07 大学院	P 13 施設など
P 03 教育プログラム	・経済学研究科 経済経営学専攻	P 15 就職
P 05 学部生の1日	・経済学研究科 会計専門職専攻(会計大学院)	P 17 入試情報
P 06 ゼミ	P 11 留学プログラム	・経済学部の入試
・先生や先輩の声を聞いてみよう!	・海外留学・各種留学プログラム	・2021年度入学者用入試情報
	・プログラム・受賞歴	

経済学部の教育

経済学部では、「経済学と経営学の融合教育」と「少人数教育」を柱とした教育を行っています。経済学部は経済学科と経営学科の2学科から成っており、学科の所属は3年次に進級したときに選ぶゼミナールによって決まります。ただし、どちらの学科に所属しても授業科目の選択は、まったく自由です。また、ゼミナールでの少人数教育に力を入れており、3・4年次の2年間、教員や先輩・後輩との深い信頼関係の中で学習と研究を行います。寄附講義も開講しており、企業人の生の声を聞くことができます。

「モノの生産・交換・流通・消費・再生産」を分析するのが 経済学／経営学

経済学 変動する経済社会のメカニズムを解明する

経済と社会の仕組みやその動きを、理論、政策、歴史といった多様な側面から見ていきます。また、統計データの分析手法を学び、近未来の経済動向を予測します。環境や福祉にも目を向けます。経済学を学ぶということは、社会を解剖する技術を身につけることなのです。

経営学 企業や地域社会の抱える諸問題を解決する

企業を中心とするさまざまな経営体の仕組みや運営について学びます。国際化し複雑化した現代社会のなかで企業と社会はどのように関わっているのか、企業の戦略はどうあるべきか、こうしたことを理論的、歴史的、実践的な角度から見ていきます。

経済学科

経済学を学ぶと
社会がもっと面白く見えてくる



医療経済
准教授
湯田 道生

「経済学」という言葉を聞くと、景気や株価の予測、金融、経済政策、金儲けの学問などと連想されることが多いようです。これらはもちろん経済学の研究対象の一部ですが、現在の経済学の研究対象はもっと多岐にわたっています。新聞やメディアでよく取り上げられる貿易・環境・独占や寡占・規制・財政・格差・労働・健康・教育・歴史・国際関係・少子高齢化・都市・観光や文化・スポーツなどに関する諸問題の本質を理解するうえで、経済学的な考え方は大変有用な道具となります。経済学科では、こうした諸問題を客観的な視点から論理的に分析して、有効な解決策を見出す能力を養成する体系的なカリキュラムを提供しています。さらに、経営学関連科目の履修によって、より多角的な視点で社会を理解する力を養うことができます。経済学を学んでもお金持ちになれるとは限りませんが、経済学を学ぶことで身につけた社会を理解する力で、大学卒業後に様々な分野で活躍する素養を身につけることができます。皆さんと東北大学経済学部でお会いできることを楽しみにしています。

経営学科

地域と世界を理解しより
変化に強い企業経営を



国際経営
准教授
金 熙珍

経営学は、経済主体の一つである企業組織を取り扱う分野です。人工知能やIoTといった技術の転換、少子高齢化や景気変動などによる消費者嗜好の変化、新興国企業の台頭による国際競争の激化など、市場環境は変化し続けます。その中で適応しながら競争力を高めていく企業の経営活動が探求の対象となります。本学科では、これからの時代を切り開いていける優れた人材育成を目標に、教員一同力を尽くしています。特に、地域に密着した課題研究とグローバルな視野を育てる教育を同時に行っていることが特徴といえます。震災復興研究や被災地における起業活動、地域イノベーションなどを通じた東北地域における経営活動を理解する一方、多彩な国際交流プログラムによる体験型カリキュラムや留学生との交流を通じてより柔軟でオープンな思考ができること、それが本学の教育の基本です。

Department of
Business
Administration

program 教育プログラム

CHALLENGE
挑戦

CREATE
創造

まずは /

最近の東北大学経済学部をのぞいてみよう!

東北大学経済学部には高校生の将来を後押しする制度やメリットがたくさんあります。東北大学経済学部への進学を未来へのステップにしてみませんか?

グローバルに視野が広がる!

海外有力大学への留学、経済学部独自の課題解決型短期留学プログラムなど充実。日本人の海外留学派遣数、留学生受入数も文系トップレベル。国を超えて切磋琢磨できる環境。



有名企業に就職した卒業生多数 (P15-16)

自分が目指す道のスペシャリストを目指そう /

学部・大学院一貫教育プログラム

学部3年から目指すキャリアに合わせて4つのプログラムを選ぶことができます

高度グローバル人材コース	日本の経済・経営	4年(学部) + 1年(大学院)
データ科学	高齢社会の地域公共経済政策	5年で修士号を取得可能

詳しくは09ページをご覧ください

EXPAND
拡大

ADVANCE
前進

就職例

- AIを駆使した研究能力を備えた世界的にニーズの高い
 - データサイエンティスト
- 日本経済と国際経済を結びつける役割の「外資系企業」への就職や、
 - 国際的ビジネスの起業 など
- リーダーシップを発揮し日本の「今」を牽引する
 - 上級職公務員

経済学部
入試では
日本初

“理系で学んだ人向け”の入試を導入

基本的に東北大学の理系学部と同じ試験問題を用いた入試を行います。2020年度入試より実施しています。高校の理系コース選択者が、自分が高校で学んだ科目(詳しくはP.17-18参照)で受験できます。好きな科目、得意な科目、将来やりたいことで、受験の幅を広げてみませんか?

入試科目	理系入試	AOⅢ期	一般入試前期	一般入試後期
		共通テスト 面接	共通テスト 英語・数学・理科(2科目)	共通テスト 数学・面接
募集人員	理系入試	10	10	10

データ解析・分析ができるビジネスパーソンを目指そう!

- なぜ理系入試?
 - データ社会が到来した!
 - データがわかるビジネスパーソンになろう!
 - 数学は「人類共通のコトバ」です。
- 経済学部なのに数学?
 - どこの経済学部・経営学部も同じです。
 - 経済学・経営学に必要な数学の授業を基本レベルから提供します(「経済経営数学基礎」「経済経営数学」)。
- 数学ができればじゃ社会では通用しない?
 - 社会の在り方を知る学問(社会科学)や人間の行動や考えを知る学問(人文学)を身に着けなければ、データ社会を乗り切ることができません。
- 経済学部で何が学べるか?
 - 経済学、経営学、会計学、統計学、経済史学、全部学べます。

BYOD (Bring your own device) の導入

経済学部・経済学研究科では、2020年度から、学生全員が自分のノートパソコンを所持し持参することを前提とした授業を開始しています。

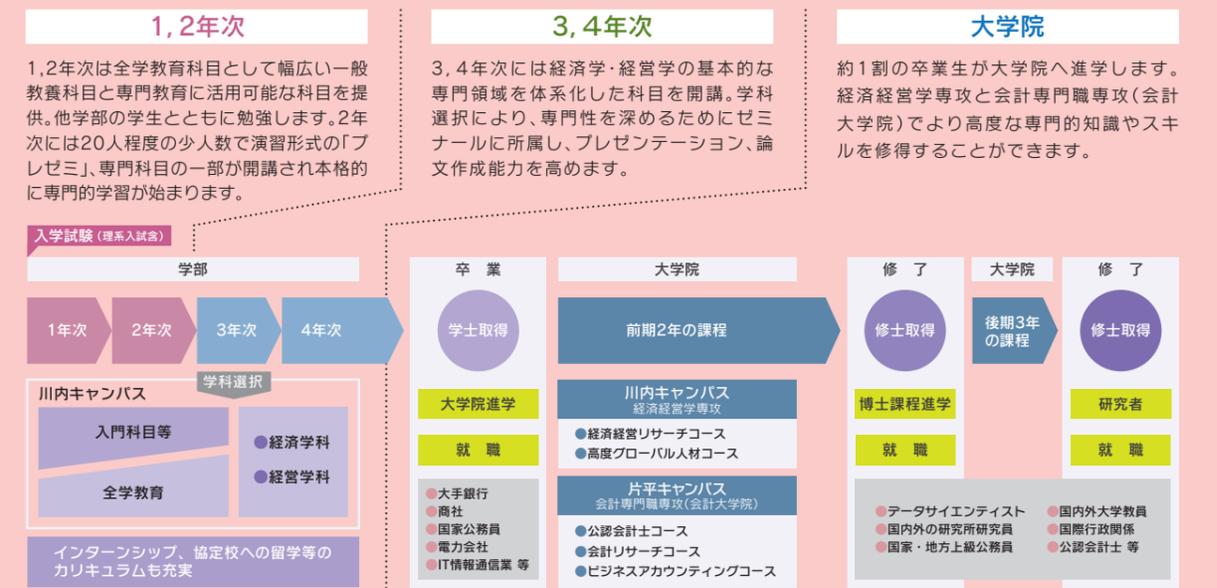
経済学部4年間の流れ



- 入学式
- オリエンテーション
- 学部専門教育「基礎専門科目」を履修
- 学部専門教育「基本専門科目」と「特定専門科目」の一部を履修
- プレゼミ
- 3年次以降の所属ゼミを選択
- 学科選択
 - └経済学科
 - └経営学科
- 「基本専門科目」と「特定専門科目」を幅広く履修
- 演習専門科目(ゼミ)
- インターンシップなど
- 論文作成・発表
- 就活など
- 学位記授与式

1年生から各種留学プログラムにも参加できます。

経済学部・大学院経済学研究科



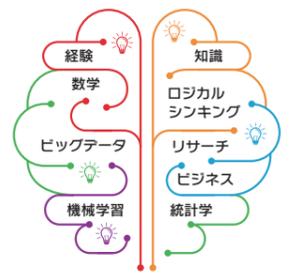
東北大学は、「Times Higher Education Japan University Rankings 2019」では、京大、東大について3位にランキング。質の高い教育を行っています。

「一流の学び」を経た卒業生は、常に多くの企業から注目されています!

最近ニーズが高まっている データサイエンティストって?

近年注目されている人工知能(AI)は、「データサイエンティスト」という職種に就く人々が処理した膨大なデータに基づき、自動運転カーの開発や高度な画像認識等を実現し、現代社会を支えています。データサイエンティストには、統計解析やITのスキルに加えて、ビジネスや市場トレンド等についての幅広い知識が求められます。ビジネスとITどちらの世界にも精通しているため、最近では、もっとも企業から求められる人材の一つです。経済学部では、学部・大学院一貫教育プログラムを設置し、データサイエンティストの養成に力を入れています。

DATA SCIENTIST
データサイエンティストに必要なスキル



★ Haruka's One day ★

久保田遥さんのとある一日

大学での授業

2年次後期で特に印象に残っている授業は、プレゼミです。プレゼミでは少人数のクラス単位で編成され、経済学・経営学の基礎的な考え方や勉強の仕方を学ぶことができます。私の所属していたプレゼミでは、社会調査について学び、グループで実際にアンケートを作成・実施し、その結果を分析して、最終的に発表を行いました。生活の中でよく目にする社会調査ですが、想像より遙かに手間暇をかけて作られていることを実感しました。今年には社会情勢を考慮して、学校には登校できず、全てオンラインでの

授業でした。しかし、多彩な授業形態がありオンラインならではの良さも多くありました。スペイン語の授業では、ウェブ会議システムを使い、教授やクラスメイトと会話練習を多くすることができました。またオンデマンド形式の授業は何度も見直すことができるので、より深い理解に繋げることができました。最初は慣れない操作に戸惑いましたが、今は不自由なく授業に取り組んでいます。



DATA

Haruka Kubota

久保田 遥
経営学科3年
福岡県立京都高校卒業

今日も頑張るぞ！

明日の予定は...

行ってきます！

サークル活動

自分たちの手で大学祭を作り上げる！

東北大学祭事務局に所属しています。東北大学祭事務局は、大学祭を1から企画し運営する団体です。毎年11月ごろに行われる東北大学祭に向けて、5月から準備が始まります。たった3日間の大学祭ですが、準備には膨大な時間がかかります。私はメインステージ担当として、仲間たちと1つのステージ発表を5ヶ月近くかけて作り上げました。大学祭当日は朝から晩まで、大学全体がとても活気づきます。私の担当したメインステージの発表も予想より多くの人に見てもらえました。観覧客の方たちの笑顔を見た時は、今までの大変さが一瞬で報われたような気がして感極まったのを覚えています。大学は様々なことにチャレンジできる絶好の場所です。そして、そこで出会った仲間はきっと皆さんの人生に彩りを添えてくれるはずです。ぜひ皆さんも興味のあることややってみたいことを、東北大学で取り組んでみてください！



Haruka's Timetable 2年次後期時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	数理統計	会計原理		マクロ経済分析	経済政策
2			経済政策	展開スペイン語	会計原理
3	マクロ経済分析		数理統計		
4			英語C2	ツーリズムとインバウンドの経済学II	プレゼミ(福嶋ゼミ)
5					

先生や先輩の声を聴いてみよう！

VOICES!

■環境経済学 演習ゼミ(日引 聡 教授)

professor HIBIKI SEMINAR



環境問題解決のためにはどうすればいいのでしょうか？「環境保全技術の開発が必要だ」、「人々や企業のモラル向上が大事だ！」とよく言われます。しかし、「良い技術が開発されても、導入費用が高ければ利用されない」、「高いモラルの人だけが頑張っても問題解決しない」などの問題があります。モラルの高低に関係なく人々や企業の行動を望ましい方向に変えるために、「政策」が重要な役割を果たします。しかし、どんな政策でもいいわけではありません。政策には何らかの副作用を伴うため、副作用の少ない政策の選択が大事です。経済学は何らかの病気を治す医学のような学問です。ヤブ医者が病気を悪化させるのと同様、社会のメカニズムを理解せずに政策立案すると問題を悪化させます。環境経済学は、理論やデータを用いて政策評価し、望ましい環境政策のあり方を明らかにします。(環境問題という病気を治す医学)＝(環境経済学)を勉強しませんか？

■財務会計論 演習ゼミ(吉永 裕登 准教授)

Associate professor YOSHINAGA SEMINAR



我々のゼミでは、就職活動でも就職後でも株式投資でも役に立つ実学として、財務情報とコーポレート・ファイナンスについて学習しています。お金の面から見たとき、株式会社は全て、①元手となる資金を出資者から集め、②その資金を事業に投資し、③事業から得られる資金を一部企業内に留保した上で残りを出資者に還元する、という3つの活動を繰り返し続ける組織と言えます。コーポレート・ファイナンスはこれら「資金調達」、「事業投資」、「ペイアウト」という3つの財務的意思決定を効率的に行うことで、企業価値の最大化という目的を達成しようとする学問です。2年間のゼミを通じて、財務情報を分析し、現実の上場企業の企業価値を評価できる能力を養成すること、その上で企業がいかなる財務的意思決定をすべきかについて議論する力を身につけることを目指しています。少しでも学生さんの人生に役立つゼミになれば幸いです。

在学生の声 ①

HIBIKI SEMINAR



KOTA WATANABE

VOICE!
01
CASE OF
KOTA

経済学科4年
渡辺 康太 さん
日引ゼミ(環境経済学)

私の所属するゼミでは主に環境経済学や計量経済学を用いたデータ分析手法について学んでいます。昨年度は大学院生と共にテキスト中の分析手法の要約や証明を担当者が発表する輪読会や、他大学と共同でデータ分析の手段としてプログラミング言語であるPythonの勉強会を行いました。数式やモデルの経済学的意味を深く学ぶだけでなく、様々な人とのゼミを通して新たな視点を取り入れられることが魅力です。

在学生の声 ②

YOSHINAGA SEMINAR



MOMOKO SASAKI

VOICE!
02
CASE OF
MOMOKO

経営学科4年
佐々木 もも子 さん
吉永ゼミ(財務会計論)

私のゼミでは少人数での主体的な議論を通じて、企業が株主などに向け公表している財務諸表の分析手法を学んでいます。投資や財務諸表には少し難しい印象がありましたが、基本から皆で学習したのでよく理解できました。最近では外部のコンテストに参加して、ゼミ生とチームを組んで実在の企業への株式投資方法について提案するレポートを作成しており、身につけた知識を活用できるよう励んでいます。

インタビュー ①

ゼミの思い出

INTERVIEW 01



SHOKO SATO

2019年3月卒業
佐藤 祥子 さん
小田中ゼミ(社会思想史)
財務省 国家公務員総合職

私は小田中ゼミ(社会思想史)に所属していました。ゼミでは、社会思想史といってもセメスターごとに学生がテーマを決定するため、一般教養のような幅広いトピックについて学ぶことが出来ます。ゼミの流れとしては、トピックについて学生が本を数冊セレクトし、それ等の本の要約・学生の書評について、ゼミ全体でディスカッションする、というものです。あるセメスターの例を挙げると、「家族問題」を扱った際には、未婚化・晩婚化や女性の社会進出、そしてそれが少子化に与える影響を学び、少子化を克服してきた海外の事例などを見ました。社会に直前の私たちが、現代日本の大きな問題について時

間をとって向き合うのは非常に大事なことであり、国家公務員になるにあたり、幅広い視点からの知識を学び、他人の意見を聞くことが出来たのは、貴重な経験になりました。このように、経済から少し離れたところから、社会について理解を深め、先生や同世代の学生と積極的に意見を交わし合うことができたのは、小田中ゼミならではの贅沢な時間だったと思います。ゼミは2年間しかありませんが、多角的に学び、スキルアップができ、かけがえのない仲間が出来る素晴らしい機会です。ぜひ、皆さんも充実したゼミライフを過ごしてください。

大学院 経済学研究科 経済経営学専攻 Graduate School of Economics and Management

経済経営学専攻に所属する講座は、基礎分野・応用分野・実践分野の3分野に大別され、8つの講座があります。また、経済・経営学分野に精通した職業人や研究者の育成に重点をおく「経済経営リサーチコース」と、グローバル化する社会において国内外で活躍できる高度職業人の育成に重点をおく「高度グローバル人材コース」が設置されています。

基礎的分野		応用的分野			実践的分野		
経済基盤講座	経営基盤講座	現代経済講座	システム科学講座	現代経営講	座医療福祉講座	地域政策講座	グローバルシステム講座

経済経営リサーチコース

幅広い視野をもつプロフェッショナルの養成

今日の経済活動や企業経営の第一線では、これまで以上に高度かつ幅広い知識やスキルが要求されています。博士課程前期2年の課程(修士課程)では、学部卒業生のみならず多くの留学生や社会人も積極的に受け入れ、グローバルかつ学際的なプロフェッショナル教育を実践しています。研究テーマ別に指導教員によるゼミ形式の「演習」やワークショップ形式の「特別演習」などを通して高度な専門的能力を習得することができます。

トップクラスの研究者の養成

本研究科は、東北大学の掲げる「研究第一主義」のもとで我が国を代表する研究者を数多く輩出してきました。こうした伝統と実績の中で、博士課程後期3年の課程(博士課程)では、専門分野において優れた業績をあげる教授陣により、学会での発表や博士論文執筆に向けた個別指導を行っています。本研究科で博士号を取得した多くの人材が、国内はもとより海外でも研究者として活躍しています。

高度グローバル人材コース (Global Program in Economics and Management, GPEM)

英語で経済学と経営学を学ぶ

経済学と経営学に関する先端的なトピックを英語で学びます。講義、課題、試験をすべて英語でこなすことにより、グローバル社会で通用するスキルと知識が身につきます。日本人学生・外国人留学生の区別なく、共に科目を履修します。日本人学生と外国人留学生が同じ条件のもとで切磋琢磨あるいは協力することにより、グローバル企業で必要とされる国際的な協働スキルが身につきます。

海外研鑽とプロジェクト企画

高度グローバル人材コースに在籍する学生(外国人特別選抜生は除く)は、一定期間の海外研鑽(本研究科が協力協定を締結している海外の大学への留学、あるいは海外の企業・NGOでのインターンなど)が必修となっています。また、修士論文に替えてプロジェクト報告が必須となっています。教員の指導の下、学生自らがプロジェクトを企画し、実行に移します。また、プロジェクトに関する報告書の作成ならびにプレゼンテーションを英語で行います。グローバルに問題を発見し、解決する能力が身につきます。

インタビュー ② 元留学生の声 ①



Aysenur Aydinbakar
Ph.D
Lecturer, Faculty of Political Science,
Department of Economics,
Social Sciences University of
Ankara, Turkey

東北大学で学び、トルコで研究職に

I was in Japan for my Ph.D. course from 2016 to 2019, and now I am a lecturer at the Social Sciences University of Ankara, Turkey. It was the valuable experience because Tohoku University provides ample opportunities for students such as a large library, various seminars, a chance to meet other international students, free Japanese courses. Most importantly, Tohoku University includes precious professors who are good mentors. Being in a friendly and professional environment both improved my research skills and also shaped my character.

I have studied female labor and Japanese culture during my Ph.D. course at the Graduate School of Economics and Management of Tohoku University. As alumni of this school, I still continue learning from professors at Tohoku University and producing good work. The things I have learned at Tohoku University always lighten my way in my professional life. From here I would like to kindly give some advice to prospective students. Tohoku University, Sendai and Japan with their valuable people may change your life positively. I recommend everyone to experience the beautiful tranquil Tohoku life.

INTERVIEW 02

日本語に訳してみよう!

大学院 経済学研究科 会計専門職専攻(会計大学院) Accounting School

東北大学会計大学院では、2005年4月の設置以降、数多くの会計プロフェッショナルを輩出してきました。卒業生の多くは公認会計士や税理士、企業の経理担当者として会計実務の最前線で活躍しています。東北大学会計大学院には、公認会計士を養成するための「公認会計士コース(1学年25名)」と会計領域の研究者を養成するための「会計リサーチコース(1学年5名)」があります。さらに、2020年度から「ビジネスアカウンティングコース」(1学年10名)を新設し、リカレント教育(学びなおし教育)にも力を入れていきます。第一級の研究者教員だけでなく、監査法人や官庁などの第一線で活躍している実務家教員も数多く配置しており、理論と実践が融合した教育を行っています。実務家教員が主に担当する「事例研究」科目では、各分野の最先端の事例についてより実践的なディスカッションを行うことができます。また、1学年40名の定員に対して18名の専任教員を配置し、少人数教育を徹底しています。監査法人等への就職も順調な水準を維持しており、本学の修了生は監査法人や企業から高い評価を得ています。

会計大学院のカリキュラム

会計大学院の科目は、3つの科目群(講義科目群、リテラシー科目群、演習科目群)から構成されます。講義科目群は4領域(会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理)に分類され、会計職業人に求められる知識を学びます。リテラシー科目群は、学生のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高めるための授業が含まれます。演習科目群は主に会計リサーチコースの学生を研究指導するための科目になります。

詳しくは、ホームページで <http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/index.html>

講義科目群	
●会計領域	●ITと統計領域
●経済と経営領域	●法と倫理領域

リテラシー科目群
演習科目群

会計大学院のキャンパス

会計大学院の講義は基本的に片平キャンパスのエクステンション教育研究棟で行っています。学生の研究室、PC実習室、資料室など、普段利用する施設については、片平キャンパスの会計大学院研究棟に設置しています。学生の研究室には定員分の座席と書架スペースを確保しています。会計大学院研究棟には教員研究室もあり、きめ細やかな指導を行う態勢が整備されています。片平キャンパスは仙台駅より徒歩15分程度の便利な場所にあります。

在学生の声 ③



KOKI HIRAZUMI

VOICE!
03
CASE OF
KOKI

会計大学院
平泉 洸輝 さん

東北大学会計大学院では、会計関連の講義に加えて、ITや統計の講義、会計職業人として必要な倫理を学ぶ講義などの将来的に役に立つ授業が開講されています。また、実務経験のある先生方による講義も設けられており、実務をイメージしながら、理解を深めることができます。COVID-19が監査の現場に与える影響についても、実務的な視点から知見を広げることができました。

また、本学には留学生や社会人学生も在籍しています。自分にはない視点を持った学友とともに、刺激を受けながら成長できる環境が整っていることも本学のメリットの一つです。このような恵まれた環境を生かして、社会に貢献できる、一流の公認会計士になりたいと思っています。

会計大学院のイベント

毎年、会計大学院ではOBOG会を開催しています。監査法人や税理士法人、一般企業、官公庁等で勤務するOBOGが参加し、近況を報告します。在学生がOBOGと情報を交換できる良い機会となっています。その他、会計大学院では2012年3月から会計研究会を開催しています。学外の優れた研究者・実務家を積極的に招聘しており、会計分野の最先端の動向に触れることができます。

学部・大学院一貫教育プログラム

学部・大学院一貫教育プログラムを新設しました。目指すキャリアに合わせて4つのプログラム(高度グローバル人材コース、データ科学、日本の経済・経営、高齢社会の地域公共経済政策)を選ぶことができます。より専門的な知識の習得により【4年(学部)+1年(大学院)】5年で修士号を取得できます。コースによっては、その後、東北大学国際共同大学院プログラムで学び、他部局や海外有力大学の教員の指導を受けることができます。2020年度は学部・大学院一貫教育プログラムに9名(高度グローバル人材コース1名、データ科学5名、日本の経済・経営1名、高齢社会の地域公共経済政策2名)の学生が参加しました。参加学生は学習ラボを拠点として、大学院の授業の先行履修、修士論文作成へ向けた研究、自主的な勉強会の開催など、早期修了を目指して勉強と研究に励んでいます。



We develop global leaders

4つの領域で「知識社会」を支えるグローバルリーダーを育成します
各領域に本プログラムの支援教員(助教)を配置。教育の質の向上を図っています。

高度グローバル人材コース(GPEM)

- 英語による授業および海外研鑽でグローバルな企業・行政での即戦力養成

データ科学

- 経済・経営分野で活躍するデータサイエンティスト養成
●データ科学国際共同大学院へ優先的に推薦

日本の経済・経営

- 日本の経済・経営に関するエキスパート養成
●日本学国際共同大学院へ優先的に推薦

高齢社会の地域公共経済政策

- 高齢化や人口流出など、東北地域の実践的諸問題を理論的に解決できる公共政策立案者の養成
●上級職公務員試験受験に対応

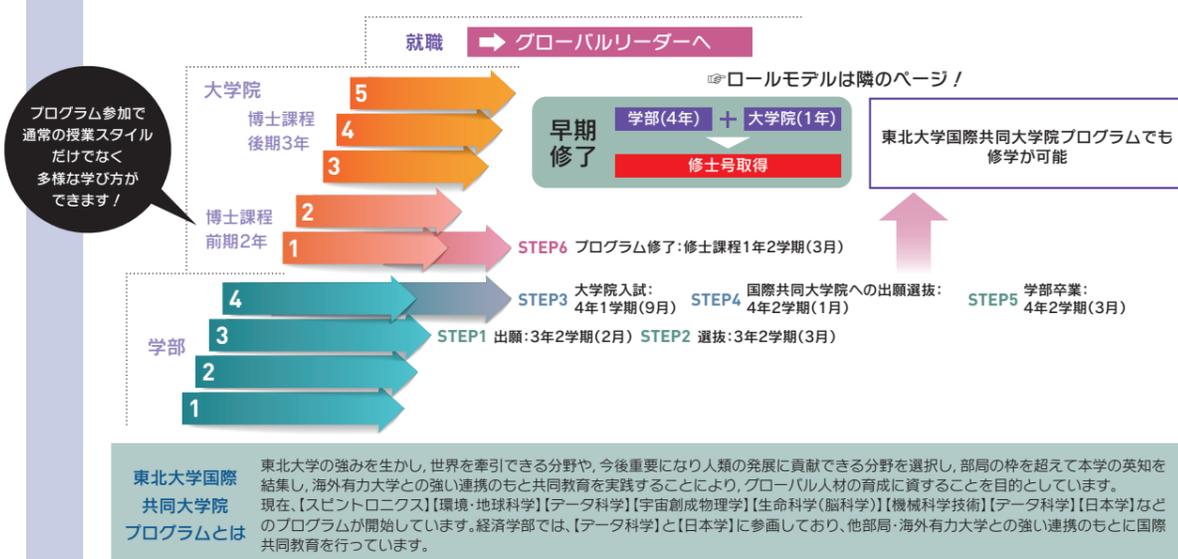
主な就職先

AIを駆使した研究能力を備えた世界的にニーズの高い
●データサイエンティスト

日本経済と国際経済を結びつける役割の「外資系企業」への就職や、
●国際的ビジネスの起業 など

リーダーシップを発揮し日本の“今”を牽引する
●上級職公務員

学部・大学院一貫教育プログラム 出願・選抜・修了・就職まで



目指せ! 次の100年を創るビジネスパーソン

インタビュー ③ 学部・大学院一貫教育プログラム高度グローバル人材コース(GPEM) 修了者の声



2018年3月修了
柏瀬 あすか さん
日本貿易振興機構(JETRO)海外調査部

GPEMでの経験が仕事の糧に

私は交換留学を通じて組織のマネジメントに関心を抱いたことから、高度グローバル人材コース(GPEM)に進学し、組織の持続可能性をテーマに研究を行いました。GPEMでは1年間の海外留学と、研究の成果としての英語によるプロジェクト報告が求められますが、私は大学3年生で交換留学をしたことから、学部と大学院を併せて5年で修了しました。国立台湾大学への留学では、日本と台湾の学生交流を行う団体に参加し、活動を通じて「この組織が活動を続け、発展するためにはどうすればよいのか?」と疑問に感じたことから、組織の持続性というテーマでプロジェクトを進めたいと考え、組織とマネジメントについて学ぶことができる非営利組織研究室を選択しました。GPEMのメリットは、日本人・外国人の区別なく切磋琢磨しながら勉強ができることだと思います。GPEMは、授業が英語で行われるため、ディスカッションや論文を読む際に難しさを感じることも多々ありました。しかし、留学生から英語でのプレゼンテーションの仕

方を学んだり、研究に関するアドバイスをし合ったりと、コツコツ努力を重ねていくことで、英語を鍛えると同時に、研究のための基礎知識を身につけることができました。また、授業や研究室で、中国やアフリカの学生とも意見を交換する中で、各国の社会や市場、非営利組織の特徴を知ることもでき、自分の視野が広がったように思います。日々の勉強と研究と並び、就職活動にも力を入れました。交換留学やGPEMを通じて、日本の国際競争力の低下に危機感を覚えた経験から、日本経済の再活性化に貢献できる仕事がしたいと考え、日本貿易振興機構(JETRO)に就職を決めました。現在は海外調査部に所属し、日本企業の海外展開に関するアンケート調査や、世界の貿易・投資に関するレポートの作成を行っています。大学院での専攻とはまた違った分野ではありますが、研究を通じて学んだ調査の作法や情報収集のコツは仕事でも役に立っており、GPEMでの経験は自分の貴重な財産になっていると感じています。

INTERVIEW 03

在学生の声 ④



VOICE!
04
CASE OF
SAYURI

経済学研究科2年
米山 小百合 さん
学部・大学院一貫教育プログラム

学部・大学院一貫教育プログラムは、学士課程と大学院修士課程を、合わせて5年で修了できるプログラムです。大学入学から大学院修士課程修了までに、通常は6年かかりますが、このプログラムでは実質飛び級をすることができます。このような一貫教育プログラムの中でも、私は、近年重要視されている「データ科学」を専門的に学習する

コースに所属しています。本コースでは、多くのデータ分析手法やプログラミングスキルを習得することはもちろん、自ら課題を見つけてそれをデータサイエンスの力で解決するという「課題設定力」や「問題解決能力」をも養うことができます。このように、ビジネスシーンでの重要性が増している様々なスキルを身につけられるのが、本コースの特徴です。

インタビュー ④ 東北大学データ科学国際共同大学院 プログラム採用者の声

INTERVIEW 04

日本語に訳してみよう!

A great opportunity to launch my career as a data scientist

The Graduate Program in Data Science gives me a great chance to develop the abilities needed to do data-driven work in the analysis of environmental economics. Through foundation courses, training camps, and specialized seminars offered, I have acquired the necessary skills to conduct empirical research with highly complex data of climatic and socio-economic indicators. This enables me to construct a climatic model that better estimates the effects of climate change on economic outcomes in Vietnam for my research project. Furthermore, I

can get practical training under joint-supervision in international research collaboration with an overseas institution. It helps me learn cutting-edge knowledge and techniques from pioneering experts in the fields and develop new ideas for my future research. I believe that with the expertise acquired from this program, I can give the fruits of my research back to society and contribute policy recommendations to promote the sustainable development of the Vietnamese economy with the power of data science tools.



Mai Thi Tuyet Chinh
Ph.D. student at the Graduate School of Economics and Management

留学・海外研修

経済学部では、留学や海外研修を希望する学生を応援しています。国際交流支援室を設置し、留学相談、派遣学生のサポートなどを行っています。

To the world from TOHOKU UNIVERSITY 東北大学経済学部から世界へ

66校の大学と大学間・部局間協定を締結しています。留学時に授業料等不徴収とする交流協定もあり、多くの学生が留学しています。

2019年度 派遣留学生 **88**名 派遣日本人学生比率 **文系トップクラス**



36名 (うち大学間31名、部局間5名) **長期留学** (6か月以上)

主な渡航先 ドイツ、スウェーデン、シンガポール、フランス等

52名 (うち大学間45名、部局間7名) **短期留学**

主な渡航先 アメリカ、ベトナム、スペイン等



From the world to TOHOKU UNIVERSITY 世界から東北大学経済学部へ

2019年度 外国人留学生

約**20**ヶ国から**210**名を受け入れてます。(2019年度実績)



私はスウェーデンのウプサラ大学に1年間の長期交換留学をしました。講義ではスウェーデンの政治・社会福祉の制度や歴史、ジェンダーと経済の関係性、持続可能な社会制度や環境と経済の関係などを学びました。自分が日本で感じていた「学ぶべきモデル」としての北欧の制度の在り方と、スウェーデンで人々が抱えている自国の制度の問題意識の差を講義を通して感じ、現地に身を置いて学ぶことの重要性を実感しました。

日々の生活でも発見することが多かったです。例えば、日照時間が短い時期が長く続く冬を乗り越えるために生活を多様に工夫するスウェーデンの暮らし方を学びました。フィーカというコーヒーとシナモンロールと共に家族や友人と会話を楽しむ時間を持つ文化や、インテリアや灯りで室内を装飾し、思い思いに読書、ジムや料理の時間を過ごす文化は厳しい冬を乗り越えるために長い間大切にされてきた習慣だと知りました。現地の文化をその地に住む人々と体験することも留学ならではの経験だと感じました。

東北大学の派遣交換留学プログラムは、自分の目的に合った大学を世界中の協定校から選ぶことができるのが大きな魅力です。また、自分の研究プランに合わせて在学中の予定をフレキシブルに組むこともできるのも経済学部の強みだと思います。



手巻き寿司を披露した際の一瞬。中央の着物の方が庄子さん

1日の生活	
8:00	起床
10:00~15:00	授業
15:00~16:00	自習
16:00~18:00	スウェーデン語の授業
18:00~19:00	友人とフィーカ
19:00	帰宅、夕食を寮の友人と作る
23:00	自習・課題
1:00	就寝



授業風景



フィーカ中の様子

☆週末には数ある学生団体のイベントに参加して他国からの留学生と交流を深めました！

関連プログラム・受賞歴

留学や海外研修を支援する経済学部独自のプログラムも充実。全学の海外留学奨励賞では、経済学部の学生はトップの受賞者数を誇っています。

経済学研究科独自の国際的なプログラム ダブルディグリー・プログラム

バダボン大学の Stefan Jungblut 教授から修了証書を受け取った白蘭さん (経済経営学専攻グローバル人材コース)



部局間交流協定締結校のドイツ・バダボン大学と、修士のダブルディグリー・プログラム(双方の修士号が一気に取得できる制度)を行っています。毎年、バダボン大学と経済学研究科の学生が相互の大学を訪れ、両方の大学で修士号を取得するために勉強をしています。バダボン大学では、1年間、英語で経済学・経営学の授業を学びます。

経済学部 独自の留学プログラム ファカルティレッドプログラム

東北大学 大野総長と植木理事を囲むファカルティレッドプログラム参加の学生達。本学役員やベトナム貿易大学役員の前で、英語でプレゼンテーションを行いました。(2019.2/ベトナム貿易大学)



経済学部・経済学研究科では、毎年、短期留学プログラムを実施しています。経済・経営分野に特化した課題解決型のプログラムです。2019年2月に実施されたプログラムでは、ベトナム貿易大学に学生を派遣し、ベトナム貿易大学の学生との共修を行いました。現地の日本貿易振興機構、七十七銀行での研修、一日インターンシップ(三菱商事ベトナム、キュービーベトナム、TOTO、イオン等)では、テーマに沿って調査・議論・提案を行い、現地社長や社員の方に評価していただきました。ベトナム人学生との共同作業を通じ、日本と異なる文化の下で、どのように問題解決をしていけばよいのかという体験型の研修です。短期プログラムの成績により、単位認定されます。

全学トップの受賞者数 グローバル萩海外留学奨励賞

- 準備金 上限30万円を渡航のために必要な一時金として支給
- 奨学金 月額6~10万円の範囲で支給 ※金額は派遣先により異なる

経済学部は全学トップの受賞者数を誇ります。東北大学と学術交流協定を締結している海外の大学に留学する学生のうち、特に優秀な成績の学生に与えられ、賞状と準備金および奨学金が授与されます。



研究力の発信基地である各センター

経済学研究科には、4つの研究センターが設置されています。

地域イノベーション研究センター	日本国内の諸地域のイノベーション能力の向上を図り産業振興と経済発展に貢献するための企画提案や人材育成を行っています。
震災復興研究センター	東日本大震災後に東北大学の災害研究機関内で一番早く設立され学内外機関と連携して東北地方における災害からの復興に地域経済・産業の関する調査研究を行っています。
サービス・データ科学研究センター	ビッグデータの有効活用によるサービス産業の生産性向上とイノベーション創出のための研究を行っています。
高齢経済社会研究センター	高齢経済社会及びそれに対応した公共政策について先端的な研究を行っています。

<h4>地域イノベーション研究センター</h4> <p>(2005年7月設立)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域イノベーションプロデューサー塾(地域の中小企業の経営人材等を対象に、革新的プロデューサー育成する事業)を実施 地域イノベーションアドバイザー塾(地域の金融機関等の職員を対象に高度な目利き力と支援力を有する人材を育成する事業)を実施  <p>連携協力協定締結式</p>	<h4>震災復興研究センター</h4> <p>(2011年4月設立)</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣大学、研究機関等から100名を超すメンバーの参画を得て、震災復興調査研究を行い、10冊を超える刊行物発行 内閣府の防災情報ページに本センターのデータを基礎とした地震被害想定システム公開 東北大学災害科学国際研究所と連携して国際会議(仙台防災未来フォーラム)を実施  <p>東日本大震災からの地域経済復興への提言</p>	<h4>サービス・データ科学研究センター</h4> <p>(2013年4月設立)</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外の研究者を招聘し、統計学・計量統計学、ビッグデータに関するワークショップを定期的開催 企業との共同研究による特許申請や(プリシストン等)AIの共同研究に関する契約締結により、企業との協働を開始 	<h4>高齢経済社会研究センター</h4> <p>(2015年4月設立)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共政策・加齢経済・医療経済に関するアカデミックセミナー等を定期的開催 子ども人口時計(日本における少子化の状況をわかりやすく「見える化」)を2012年から継続的に公表 みやぎ県立大学での講座開講  <p>学術的背景による高齢社会の諸問題</p>
---	---	---	---

実践的な視点から学ぶ寄附講義

経済学研究科・経済学部では、企業等の外部組織から授業提供を受けています。現代社会のニーズに合った授業を開講し、実践的な視点から学び、専門的知識を拡げます。

2019年度開講授業

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 「ステークホルダー経営実践論」(経営倫理実践研究センター) 「アセットマネジメント」(日本投資顧問協会) 「ツーリズムとインバウンドの経済学Ⅰ・Ⅱ」(JR東日本) 「Financial Markets and Risk Management」(日興リサーチセンター) 「マーケティング営業」(プルテンシャル生命) | <ul style="list-style-type: none"> 「キャリアワークショップ」(大和総研) 「ビジネスデータ科学」(aiforce) 「資本市場の役割と証券投資」(野村証券) 「損害保険概論」(日本損害保険協会) 「地域財務金融行政論」(東北財務局) |
|--|---|

企業人の話を直接聴くことができ、就職活動にも役立つアンケートの結果、多くの学生が「役に立った」と回答。

ビジネスデータ科学 (aiforce)

東北大学大学院経済学研究科サービス・データ科学研究センターは、(株)aiforceと共同研究書に2019年1月に調印し、2019年4月より講義「ビジネスデータ科学」を提供していただいています。この講義では、実際のビジネスの分野ではどのように

AIが活用され、業務生産性の向上に活かされているのかを講義・ワークショップ形式で進めています。授業では、機械学習によるデータ分析や需要予測を学び、授業の最後には学生によるAIプロジェクトのプレゼンテーションが行われました。



他機関との連携で多彩な授業を提供します

教育・研究協定締結

ここ数年では、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)、日興リサーチセンター株式会社(日興証券グループ)、aiforce solutions Inc. (AIビジネス企業)等と協力協定を締結しました。それぞれの寄附講座科目を開講し、企業人の声を直接聴くことができる授業を学生に提供しています。就職にも役立つと在校生に高い評価を得ています。単位取得も出来ます。上記以外の企業から提供されている寄附講座もあり、受講することでさらに視野が広がります。



充実した施設・制度

学生生活をしっかりサポート

充実した環境での学習 文系総合講義棟

文系学部の講義が行われている文系系総合講義棟は、2015年に新設され、充実した最新の設備を備えています。学部1,2年次の入門科目をはじめ、経済学部の講義の多くがここでされています。1階には、自由に勉強ができるコモンスペースがあり、多くの学生が活用しています。また、大学生協の売店や国際交流オアシスもあります。



経済学部の学生の学修や生活についての相談窓口 学生相談室など

経済学部では全学の支援窓口と連携してよりきめ細かくみなさんの支援をするため、学生相談室を設置しています。学習や学生生活など、一人で困難を抱え込まず、相談窓口へ連絡できるような体制を整えています。担当の教員がおり、専用のメールアドレスもあります。



学生の強力な味方 経済学部国際交流支援室

経済学部では、留学生や留学・国際交流を考えている学生をサポートする国際交流支援室を設置しています。専門のスタッフが常駐しており、留学相談、留学準備のための研修等を行っています。また、経済学部内で留学生との交流会を主催し、多くの日本人学生が参加しています。さらに留学生のサポートを行う日本人学生のチューターを募集し、双方の語学能力、コミュニケーション能力を高めています。



目指すOB・OGに会ってみよう 経済学部同窓会 経和会

経済学部同窓会組織である「経和会」は、経済学部の発展に寄与することを目的として活動しています。経済学部出身の著名人の講演会、懇親会も積極的に開催されています。在学中の学生も活動に参加することができます。



東氏は東北大学経済学部を卒業後、NHKディレクター、国連事務官、外交官、研究者と立場を変えながら、平和構築に関わる仕事をされています。国連事務官時代に実務責任者としてアフガニスタンの和解最高評議会や日本政府が50億円を拠出した和解基金設立の舞台裏を担い、日本の平和活動に貢献。

2020年度 性の多様性セミナー 開催報告

毎年、多様な性(性自認・性的指向)や性的マイノリティ(LGBTQ+)に関する公開セミナーを、学生主体で企画開催しています。2020年度は、早稲田大学GSセンターとコラボして「STUDENTS × UNIVERSITY × GENDER and SEXUALITIES 私たちはジェンダー・セクシュアリティにどう関わっていけばいいのか。」というテーマで開催しました。全国・海外から188名が参加し、LGBTQ+当事者学生の思い、大学のダイバーシティ推進や学生支援等について、活発に議論しました。また、留学生の要望にこたえ、英語でも同様のセミナー「The Civic Power of LGBTQ+/SOGI」(LGBTQ+・多様な性の市民力)を開催しました。LGBTQ+の学生・留学生の経験や社会的活動、国内外の大学やNPO、アライ(理解者・伴走者)の取り組み等について意見交換し理解を深めました。



性の多様性セミナー登壇者・主催者 (2020年12月)

学費と入学後のサポート体制

東北大学の初年度納付額は下記のとおりです。入学時にお支払いいただくのは入学科と前期授業料、合わせて549,900円です。(2019年4月現在)

初年度	入学科 282,000円	年間授業料 817,800円 (前期267,900円+後期267,900円)	2年目以降	年間授業料 535,800円 (前期267,900円+後期267,900円)
-----	---------------------	--	-------	--

経済的な理由で授業料などを納付することが困難な場合、条件に応じて入学科・授業料の免除や徴収猶予、月割分納などが認められることがあります。また、各種奨学金による支援制度が充実しています。海外留学のための奨学金制度もあり、学生の可能性を拡げるための環境整備を行っています。また、博士課程に進学する学生を支援するための経済学研究科独自の奨学金制度もあります。

卒業生の進路実績をヒントに未来を切り拓く

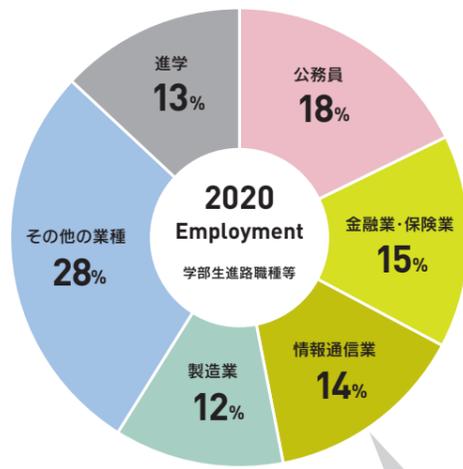
経済学部・経済学研究科の卒業生・修士生は、本学で学んだ深い学識及び卓越した能力を社会で活かしています。また、大学院で高度な専門的知識を学んだ学生は、知識を生かした就職、さらに高みを極める博士課程後期3年の課程(博士課程)に進学しています。

2021年3月現在

学部大学院		就職者数	進学者数	その他
学部全体		205名(77%)	31名(12%)	29名(11%)
大学院全体		34名(49%)	2名(3%)	33名(48%)
経済経営	経済経営 リサーチコース	21名(58%)	2名(6%)	13名(36%) ※留学生の中には母国へ帰国し活躍している方も多います。
	高度グローバル 人材コース			
会計専門職	公認会計士 コース	13名(40%)	0名(0%)	20名(60%)
	会計リサーチ コース			

主な就職先

学部	大学院	教育研究職
財務省 国税庁 経済産業省 厚生労働省 防衛庁 総務省 文部科学省 裁判所 特許庁 会計検査院 各財務局 東北地方整備局 各県庁・市役所 新日本有限責任監査法人 三菱商事 三井物産 丸紅 住友商事 伊藤忠商事 東京証券取引所 JPX(日本取引所) 各証券会社 日本銀行 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友信託銀行 ゆうちょ銀行 りそな銀行	七十七銀行 他各銀行 日本政策投資銀行 農林中央金庫 商工中金 日本政策金融公庫 各生命保険会社 三井住友海上火災保険 東京海上日動火災保険 損保ジャパン 電通 博報堂 JTB NTT JR東日本 日本郵船 トヨタ自動車 パナソニック NEC ヤマハ発動機 日立製作所 日本航空 川崎重工業 神戸製鋼所 キリン サントリー 東レ 楽天 各電力会社	海外の政府機関 国税庁 各県庁・市役所 公正取引委員会 新日本有限責任監査法人 有限責任監査法人トーマツ 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 中国工商銀行 日本貿易振興機構 IBM NEC 富士通 三菱電機 日立 シャープ 七十七銀行 第一生命保険 日本生命保険相互 みずほ銀行 日本電気 NTTコミュニケーションズ 仙台放送 ソフトバンク 各電力会社



これまでも金融業や公務員への就業が多いのですが、近年では入社が難しいトップ企業の商社等への就職も増えています。経済学部のグローバルな教育が就職に役立ちます。

東北大学キャリア支援センターの活用

東北大学には、学生のキャリア形成支援を行う「キャリア支援センター」が設置されています。進路選択の相談、インターンシップに関する相談、就職活動の進め方や保護者に就活の現状を説明する講座等様々な事業を展開しています。積極的に活用してください。

インタビュー ⑥ 元留学生の声 ②



Nguyen Thi Phuong Dung, Ph.D.
Lecturer, Faculty of Accounting and Auditing,
University of Economics and Business, Vietnam
National University (VNU) Hanoi (Vietnam)

INTERVIEW 05

母国の教育・研究に貢献

日本語に訳してみよう!

I am working as a lecturer in Vietnam National University, Hanoi. I graduated my PhD course in Tohoku University in 2013. Tohoku University provided various supports to international students such as free Japanese courses, orientation in English, coffee hours between international students and Japanese students and so on.

I was impressed with Sendai City and Tohoku people. Sendai city gives supports by organizing activities, festivals and volunteer organizations for international students. Tohoku people are so friendly and kind to us.

インタビュー ⑥ 大学院修士生の声



YOSHIFUMI OZAWA
小沢 佳史 さん
九州産業大学
経済学部経済学科 講師

INTERVIEW 06

東北大での学びを胸に

私は経済学部を卒業し、経済学研究科の修士・博士課程を修了しました。現在は、福岡の大学で、19世紀の経済思想を研究しながら、経済学の歴史について講義をしています。東北大学では、多様な考え方を基礎から応用まで学ぶことができ、250年前の古典をゼミで議論し通読するという貴重な経験もしました。また大学院では、第一線で活躍する様々な分野の先生方からご指導いただき、研究者をめざす院生の仲間と互いに切磋琢磨しました。杜の都にあるキャンパスの穏やかで開放的な雰囲気も忘れられません。こうした思い出に残る大学生活を次の世代の学生にも体験してもらえるように、教壇では日々、試行錯誤を重ねています。そして研究では、経済学のより深い理解とさらなる発展に寄与すべく、ゼミでの経験を思い出しながら古典と向き合い続けています。

私は現在、丸紅株式会社という総合商社に勤務しています。総合商社は食料、生活産業、化学品、エネルギー、金属、電力・プラント、輸送機といった広範な商品を取り扱い、国内外のネットワークを通じて、輸出入貿易や国内外の事業投資・資源開発等の事業を多角的に展開しています。「総合商社はこういう会社だ」と一口に定義するのが難しく、それぐらい多種多様なビジネスモデルを有しています。資源に乏しい日本だからこそ発達した、世界的にも珍しい企業形態です。その中で私は財務部に所属しており、トレードファイナンス(貿易金融)業務に従事しています。トレードファイナンス(貿易金融)の中でも、海外の顧客との輸出入取引において、資金決済を円滑に行うための、輸出債権の回収や輸入決済業務を主に担当しています。全社的に多くの営業部隊と関係を持ち、国内外の銀行との交渉を通じて、幅広い分野のビジネスと接点を持つことに誇りややりがいを感じています。

インタビュー ⑦ 学部卒業生の声



2017年3月卒業
堀内 隆貴 さん
丸紅株式会社勤務

INTERVIEW 07

人間力を生かしたフィールドで活躍

私は現在、丸紅株式会社という総合商社に勤務しています。総合商社は食料、生活産業、化学品、エネルギー、金属、電力・プラント、輸送機といった広範な商品を取り扱い、国内外のネットワークを通じて、輸出入貿易や国内外の事業投資・資源開発等の事業を多角的に展開しています。「総合商社はこういう会社だ」と一口に定義するのが難しく、それぐらい多種多様なビジネスモデルを有しています。資源に乏しい日本だからこそ発達した、世界的にも珍しい企業形態です。その中で私は財務部に所属しており、トレードファイナンス(貿易金融)業務に従事しています。トレードファイナンス(貿易金融)の中でも、海外の顧客との輸出入取引において、資金決済を円滑に行うための、輸出債権の回収や輸入決済業務を主に担当しています。全社的に多くの営業部隊と関係を持ち、国内外の銀行との交渉を通じて、幅広い分野のビジネスと接点を持つことに誇りややりがいを感じています。

私は現在、丸紅株式会社という総合商社に勤務しています。総合商社は食料、生活産業、化学品、エネルギー、金属、電力・プラント、輸送機といった広範な商品を取り扱い、国内外のネットワークを通じて、輸出入貿易や国内外の事業投資・資源開発等の事業を多角的に展開しています。「総合商社はこういう会社だ」と一口に定義するのが難しく、それぐらい多種多様なビジネスモデルを有しています。資源に乏しい日本だからこそ発達した、世界的にも珍しい企業形態です。その中で私は財務部に所属しており、トレードファイナンス(貿易金融)業務に従事しています。トレードファイナンス(貿易金融)の中でも、海外の顧客との輸出入取引において、資金決済を円滑に行うための、輸出債権の回収や輸入決済業務を主に担当しています。全社的に多くの営業部隊と関係を持ち、国内外の銀行との交渉を通じて、幅広い分野のビジネスと接点を持つことに誇りややりがいを感じています。

経済学部の入試 (AOⅢ期・一般選抜(前期)・一般選(後期))

大学入学共通テスト利用教科・科目

○指定科目、○選択科目

出題教科	グループ	出題科目	AOⅢ期	一般(前期)	一般(後期)	備考
国語		「国語」	○	○	○	
地理歴史		「世界史B」	○	○	○	2科目選択
		「日本史B」	○	○	○	
		「地理B」	○	○	○	
公民		「倫理・政治・経済」	○	○	○	
数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	○	○	○	1科目選択 普通科・理数科以外※2
		「数学Ⅱ・数学B」	○	○	○	
	②	「簿記・会計」 「情報関係基礎」	○	○	○	
理科	①	「物理基礎」	○	○	○	①の基礎を付した科目から2科目選択又は②の基礎を付さない科目から1科目選択(基礎を付さない科目を2科目選択した場合は、第1解答科目の成績を利用します。)*1-3
		「化学基礎」	○	○	○	
		「生物基礎」	○	○	○	
		「地学基礎」	○	○	○	
	②	「物理」	○	○	○	
		「化学」	○	○	○	
		「生物」 「地学」	○	○	○	
外国語		「英語」	○	○	○	1科目選択 (「英語」については、リスニングを含みます。)
		「ドイツ語」	○	○	○	
		「フランス語」	○	○	○	
		「中国語」	○	○	○	
		「韓国語」	○	○	○	

- ※1 「理科(②の基礎を付さない科目)」において、指定した科目以外の科目を第1解答科目として受験した場合には、出願できません。
- ※2 総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できます。
- ※3 「①の基礎を付した科目から2科目」と「②の基礎を付さない科目から1科目」を受験した場合、高得点となる方の成績を利用します。
- ※4 外国語の「英語」については、リーディング(100点満点)、リスニング(100点満点)の成績を、リーディング(150点満点)、リスニング(50点満点)の配点に換算して得た合計点を素点として利用します。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング(100点満点)の成績を、リーディング(200点満点)に換算した点を素点として利用します。
- ※5 2021年度以前の大学入学共通テストの成績は、利用しません。

大学入学共通テスト利用教科・科目

○指定科目、○選択科目

出題教科	グループ	出題科目	AOⅢ期	一般(前期)	一般(後期)	備考
国語		「国語」	○	○	○	
地理歴史		「世界史B」	○	○	○	1科目選択 (2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。)*1
		「日本史B」	○	○	○	
		「地理B」	○	○	○	
公民		「倫理・政治・経済」	○	○	○	
数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	○	○	○	1科目選択 普通科・理数科以外※2
		「数学Ⅱ・数学B」	○	○	○	
	②	「簿記・会計」 「情報関係基礎」	○	○	○	
理科	②	「物理」	○	○	○	②の基礎を付さない科目から2科目選択
		「化学」	○	○	○	
	「生物」	○	○	○		
	「地学」	○	○	○		
外国語		「英語」	○	○	○	1科目選択 (「英語」については、リスニングを含みます。)
		「ドイツ語」	○	○	○	
		「フランス語」	○	○	○	
		「中国語」	○	○	○	
		「韓国語」	○	○	○	

- ※1 「地理歴史」及び「公民」において、指定した科目以外の科目を第1解答科目として受験した場合には、出願できません。
- ※2 総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できます。
- ※3 外国語の「英語」については、リーディング(100点満点)、リスニング(100点満点)の成績を、リーディング(150点満点)、リスニング(50点満点)の配点に換算して得た合計点を素点として利用します。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング(100点満点)の成績を、リーディング(200点満点)に換算した点を素点として利用します。
- ※4 2021年度以前の大学入学共通テストの成績は、利用しません。

AO入試Ⅲ期

募集人員	58名
出願受付	2022年1月下旬
受験日	2022年2月上旬
合格発表	2022年2月上旬
出願資格	次のいずれかに該当する者となります。 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
出願要件	次のすべての要件を満たすこととします。 ① 本学経済学部での勉学を強く志望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 ② 2022年度大学入学共通テストにおいて、指定する教科・科目を受験した者
選抜方法	出願書類の内容、大学入学共通テストの成績及び面接試験の結果を総合して合格者を決定します。 出願書類については、高等学校の教科成績のほか、学校内外の様々な学習成果や活動実績、資格等(英語の資格・検定試験など)を評価します。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの成績により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者におのみ第2次選考を行います。

配点

	大学入学共通テスト						面接試験	合計
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小計		
第2次選考	200	200	200	100	200	900	250	1,150

※1 出願書類の評価は面接点に含めます。

AO入試Ⅲ期

募集人員	10名
出願受付	2022年1月下旬
受験日	2022年2月上旬
合格発表	2022年2月上旬
出願資格	次のいずれかに該当する者となります。 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
出願要件	次のすべての要件を満たすこととします。 ① 本学経済学部での勉学を強く志望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 ② 2022年度大学入学共通テストにおいて、指定する教科・科目を受験した者 ③ 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学B(理数科にあっては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ及び理数数学特論)を履修した者又は履修中の者
選抜方法	出願書類の内容、大学入学共通テストの成績及び面接試験の結果を総合して合格者を決定します。 出願書類については、高等学校の教科成績のほか、学校内外の様々な学習成果や活動実績、資格等(英語の資格・検定試験など)を評価します。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの成績により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者におのみ第2次選考を行います。

配点

	大学入学共通テスト						面接試験	合計
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小計		
第2次選考	200	100	200	200	200	900	250	1,150

※1 出願書類の評価は面接点に含めます。

2022年度入学者用入試情報

一般選抜(前期日程)

募集人員	147名
出願受付	2022年1月下旬～2月上旬
受験日	2022年2月25日(金)～2月26日(土)
合格発表	2022年3月上旬
出願資格	入学を志願することのできる者は、次のいずれかに該当し、かつ、2022年度大学入学共通テストのうち経済学部が、指定する教科・科目を受験した者となります。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者

個別学力試験実施教科・科目及び試験時間

出題教科	出題科目受験	科目数	試験時間
国語	国語総合○	3	150分
	現代文B○		
	古典B○		
	数学Ⅰ○		
数学	数学Ⅱ○	4	100分
	数学A○		
	数学B○		
	英語○		
外国語	英語○	1	100分

- ※1 数学については、数学Bは「数Ⅱ」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- ※2 外国語中、英語については、「コミュニケーション英語ⅠⅡⅢ」及び「英語表現ⅠⅡ」を併せて1科目とします。

配点

区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	計総点	数学
共通テスト	100	250	100	100	100	650	900
個別	300	—	300	—	300	900	—

一般選抜(前期日程)

募集人員	10名
出願受付	2022年1月下旬～2月上旬
受験日	2022年2月25日(金)～2月26日(土)
合格発表	2022年3月上旬
出願資格	入学を志願することのできる者は、次のいずれかに該当し、かつ、2022年度大学入学共通テストのうち経済学部が、指定する教科・科目を受験した者となります。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者

個別学力試験実施教科・科目及び試験時間

出題教科	出題科目	受験科目数	試験時間
数学	数学Ⅰ○	5	150分
	数学Ⅱ○		
	数学Ⅲ○		
	数学A○		
	数学B○		
理科	物理基礎・物理○	2	150分
	化学基礎・化学○		
	生物基礎・生物○		
	地学基礎・地学○		
外国語	英語○	1	100分

- ※1 数学については、数学Bは「数Ⅱ」、「ベクトル」を出題範囲とします。また、数学Ⅲは発展的な内容「微分方程式」からは出題しません。
- ※2 理科については、各科目の基礎を付した科目と基礎を付さない科目を併せてそれぞれ1科目とし、全範囲を出題範囲とします。
- ※3 外国語中、英語については、「コミュニケーション英語ⅠⅡⅢ」及び「英語表現ⅠⅡ」を併せて1科目とします。

配点

区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	計	総点
共通テスト	150	100	150	100	150	650	1,550
個別	—	—	300	300	300	900	—

一般選抜(後期日程)

募集人員	25名
出願受付	2022年1月下旬～2月上旬
受験日	2022年3月12日(土)
合格発表	2022年3月上旬
出願資格	入学を志願することのできる者は、次のいずれかに該当し、かつ、2022年度大学入学共通テストのうち経済学部が、指定する教科・科目を受験した者となります。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者

個別学力試験実施教科・科目及び試験時間

出題教科	出題科目受験	科目数	試験時間
数学	数学Ⅰ○	4	100分
	数学Ⅱ○		
	数学A○		
	数学B○		
外国語	英語○	1	100分

- ※1 数学については、数学Bは「数Ⅱ」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- ※2 外国語中、英語については、「コミュニケーション英語ⅠⅡⅢ」及び「英語表現ⅠⅡ」を併せて1科目とします。

配点

区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	計総点	数学
共通テスト	200	100	※1	※1	※1	300	900
個別	—	—	300	—	300	300	—

- ※1 大学入学共通テストの利用について、第1段階選抜の際には「国語」、「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」及び「外国語」を利用し、入学者選抜の際には「国語」及び「地理歴史・公民」を利用します。

一般選抜(後期日程)

募集人員	10名
出願受付	2022年1月下旬～2月上旬
受験日	2022年3月12日(土)
合格発表	2022年3月上旬
出願資格	入学を志願することのできる者は、次のいずれかに該当し、かつ、2022年度大学入学共通テストのうち経済学部が、指定する教科・科目を受験した者となります。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者

個別学力試験実施教科・科目及び試験時間

出題教科	出題科目	受験科目数	試験時間
数学	数学Ⅰ○	5	150分
	数学Ⅱ○		
	数学Ⅲ○		
	数学A○		
	数学B○		
	英語○		

- ※1 数学については、数学Bは「数Ⅱ」、「ベクトル」を出題範囲とします。また、数学Ⅲは発展的な内容「微分方程式」からは出題しません。

面接試験	出願書類と面接試験により経済社会問題への関心と意欲、論理的な思考能力及びコミュニケーション能力等を評価します。
------	---

配点

区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接試験	計	総点
共通テスト	100	50	※1	150	150	—	450	900
個別	—	—	350	—	—	100	450	—

- ※1 大学入学共通テスト「数学」は第1段階選抜のみに利用します。

このパンフレットは2021年3月1日現在の情報です。
出願にあたっては、必ず学生募集要項(出願書類)をご確認ください。学生募集要項の公表時期は、2021年6月発行予定の2022年度入学者選抜要項でお知らせします。